

【調査の概要】

1 調査の目的

担い手の高齢化や労働力不足等の課題解決に向けたスマート農業の推進にあたり、重要な位置づけとなる農業支援サービスに関する今後の推進施策の基礎資料とすることを目的として、農業者を対象に、農業支援サービスに関する意識・意向を把握する。

2 調査の対象

2020年農林業センサスの農業経営体のうち、農産物販売金額がある農業経営体であって、次のいずれかに該当する農業者を対象とした。

- ① 認定農業者又は認定新規就農者がいる個人経営体の世帯主
- ② 団体経営体の代表者

3 調査事項

農業支援サービスの活用状況、今後の意向、活用していない理由等
※詳細は別添（調査票）参照

4 調査期間

本調査は、令和7年10月下旬から11月下旬までの間に実施した。

5 調査方法

民間事業者が調査票を郵送し、調査対象が記入した調査票を郵送又はオンラインにより回収する方法により実施した。

6 集計方法

各項目とも、単純積み上げにより算出した。

7 調査対象数、有効回答数及び有効回答率

調査対象数、有効回答数及び有効回答率は次のとおりである。

区分	調査対象数	有効回答数 (注1)	有効回答率
	人	人	%
農業者計	20,000	11,147	55.7
部門別(注2)			
稲作	7,458	4,410	59.1
麦類作及び雑穀・いも類・豆類	1,173	579	49.4
露地野菜	2,550	1,384	54.3
施設野菜	2,651	1,454	54.8
果樹類	1,909	1,134	59.4
その他作物(工芸農作物、花き・花木及びその他の作物)	1,800	1,037	57.6
酪農	939	401	42.7
肉用牛	1,062	537	50.6
その他畜産(養豚、養鶏、養蚕及びその他の畜産)	458	211	46.1

注：1 有効回答数とは、集計に用いた調査対象者の数である。

：2 2020年農林業センサスの調査時点における農産物販売金額1位の部門別であり、本調査の1年前(2024年)における問1の回答とは異なる。

8 地域別の区分

地域別の区分は、次のとおりである。

地域名	所属都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
北陸	新潟、富山、石川、福井
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国・四国	鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
九州・沖縄	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

9 用語の解説

農業支援サービス

不特定の農業者等に対して対価を得てサービスを提供することをいい、ドローン散布等の作業受託やデータ分析、農業機械のシェアリング、農業現場への人材供給等がある。

当調査においては、サービスを（１）専門作業受注型、（２）データ分析型、（３）人材供給型、（４）機械設備供給型の４類型に分類し、その中の主要な農業支援サービスを対象とした。

また、農場での営農行為に関わる「有償」のサービスを対象とし、農産物の流通・販売に係るサービス（選果、貯蔵、調製、選別、共同出荷など）や、税理士による青色申告等の会計業務、獣医師による授精を除く医療行為は対象外とする。

【当調査の対象となる農業支援サービスの４類型と具体例】

（１）専門作業受注型

- ・ 耕うん、代かき、定植（播種、田植え、定植）、ドローンによる農薬散布・施肥、ドローン以外の農薬散布・施肥、収穫、その他（育苗、草刈、剪定など）の農作業の企業やJAへの委託
- ・ 不特定者に対するサービスとして作業受託をしている地域の担い手への委託（特定の知り合いだけからしか受託していない担い手への委託は除く）
- ・ 獣医師や家畜人工授精師による人工授精等、削蹄師による削蹄、預託サービス等の活用
- ・ 企業やJA、市町村が運営するものや地域の農業者が寄合い形成するTMRセンター及びコントラクターの利用

（２）データ分析型

- ・ 家畜の生体情報や人工授精の分析を行うサービスの利用
- ・ 土壌診断やドローン画像の撮影による生育診断を提供するサービスの利用
- ・ 生育や市況などのデータに基づいて作付・栽培計画、飼養計画や出荷時期を提案するサービス（アプリ・ソフトウェアを含む）の利用
- ・ 農業機械の購入など経営面に関する提案を行うサービス

(3) 人材供給型

- JAや人材派遣会社を介して農作業を行う人材派遣サービスの利用
- 酪農ヘルパーや肉牛ヘルパーの活用

(4) 機械設備供給型

- 農業支援サービス提供事業者からレンタルやシェアリングされたトラクター等の農業機械の利用

【参考：対象とならない取組例】

- 普及指導員やJAの営農指導員による従来からの経験に基づく無償の営農指導
- 農産物の流通・販売に係るサービス（選果、貯蔵、調製、加工、共同出荷など）
- 税理士による青色申告等の会計業務
- 仲介事業者のサービスを介さない直接のアルバイト募集・契約
- 共同利用組合等による農業機械の共同利用
- 獣医師による医療行為

10 調査における留意点

本結果は回答のあった調査対象の意識・意向を単純に積み上げたものであり、農業者の意識・意向の全体を推計したものではないことから、利用に当たっては留意する必要がある。

令和7年度食料・農林水産業・農山漁村に関する意識・意向調査

「農業支援サービスに関する意識・意向調査」

調査票

調査結果については全て統計的処理を実行し、個人が特定されないようにいたします。

また、ご回答いただきました内容についても、本調査目的にのみ使用し、他の目的で使用するは一切ないことを誓約いたします。

回答にかかる時間はおよそ10分程度を想定しております。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、本調査の趣旨についてご理解・ご協力のほどお願いいたします。

ご記入に当たってのお願い

- 1 ご記入は、黒のボールペンまたは濃い鉛筆でお願いします。
- 2 あてはまる番号に○をつけるか、() 内に適当な言葉をご記入ください。
- 3 回答する選択肢の数は質問ごとに指示に沿ってください。
- 4 質問によっては、回答していただく方が限られる場合があります。
矢印や質問文をよくお読みください。
- 5 「その他」の選択肢にあてはまる場合は、お手数ですが() 内になるべく具体的にその内容をご記入ください。

オンラインによる回答について

調査票の回答および提出は、インターネットでも可能です。
詳しくは、同封の「オンライン回答方法のご案内」をご覧ください。

オンラインで回答する場合は、右記の二次元バーコードをスマートフォンやタブレットで読み取りアクセスいただくか、下記のURLをパソコン等のウェブブラウザのアドレス欄に入力の上、アクセスしてください。



▼ オンライン回答URL

<https://marketing.post-survey.com/shien2025/>

オンラインでの回答にあたっては、下記のIDとパスワードの入力をお願いします。

ID (半角数字)	
パスワード (半角英数)	

<農業支援サービスの利用状況について>

問1 あなたの過去1年間の販売金額が1位の部門をお答えください。問2以降の設問については、本問で回答した部門の立場からご回答をお願いいたします。

(○は1つ)

- 1 水田作
- 2 畑作
- 3 露地野菜
- 4 施設野菜
- 5 果樹
- 6 その他作物（花きなど）
- 7 酪農
- 8 肉用牛
- 9 その他畜産（養豚、養鶏など）

【確認】

あなたは営農する中で、有償の農業支援サービス（※）を利用していますか。

問1で回答した販売金額第1位の部門の立場からご回答をお願いいたします。

（※本調査における農業支援サービスとは、有償で提供される農業支援サービスをいいます。農業支援サービスの定義は別紙1をご参照ください。）

利用している場合は、問2へ移動してください（4ページ目）

利用していない場合は、問6へ移動してください（8ページ目）

問2 農業支援サービスを利用している方にお聞きします。具体的にどのような有償の農業支援サービスを利用していますか。また、どのような者から農業支援サービスを受けていますか。

(1) 販売金額第1位の部門が「耕種農業」の方(問1で1~6)と回答した方

(各サービスの具体例は、別紙1をご参照ください)(○はいくつでも)

販売金額第1位の部門 が耕種農業の方		農業支援サービスの内容										
		専門作業受注型						データ分析型		人材供給型		機械設備提供型
		耕うん、代かき	定植(播種、田植え、定植)	ドローンによる農薬散布・施肥(注2)	ドローン以外の農薬散布・施肥(注2)	収穫	その他(育苗、草刈、剪定など)	生育の分析・コンサルティング	経営の分析・コンサルティング	年間を通しての人材派遣	臨時的な人材派遣	農業機械のレンタル・サブスク・シェアリング
農業支援サービス提供者 (属性)	民間	○1	○2	○3	○4	○5	○6	○7	○8	○9	○10	○11
	J A等	○1	○2	○3	○4	○5	○6	○7	○8	○9	○10	○11
	農業者 (個人・法人)	○1	○2	○3	○4	○5	○6	○7	○8	○9	○10	○11
	その他	○1	○2	○3	○4	○5	○6	○7	○8	○9	○10	○11

(注1)自治体が行う有償のサービスはその他に記入してください

(注2)「ドローン」には、マルチコプターのみを含み、「ドローン以外」には、無人ヘリ等のマルチコプター以外の無人航空機や動力散布機を含みます

(2) 販売金額第1位の部門が「畜産農業」の方(問1で7~9)と回答した方

(各サービスの具体例は、別紙1をご参照ください)(○はいくつでも)

販売金額第1位の部門が畜産農業の方		農業支援サービスの内容											
		専門作業受注型					データ分析型		人材供給型				機械設備提供型
		家畜の預託	獣医師や家畜人工授精師による人工授精等	削蹄師による削蹄	TMRセンターの利用	コントラクターの利用(注2)	生育の分析・コンサルティング	経営の分析・コンサルティング	年間を通しての人材派遣	臨時的な人材派遣	酪農ヘルパー	肉用牛ヘルパー	農業機械のレンタル・サブスク・シェアリング
農業支援サービス提供者 (属性)	民間	○1	○2	○3	○4	○5	○6	○7	○8	○9	○10	○11	○12
	J A等	○1	○2	○3	○4	○5	○6	○7	○8	○9	○10	○11	○12
	農業者 (個人・法人)	○1	○2	○3	○4	○5	○6	○7	○8	○9	○10	○11	○12
	その他	○1	○2	○3	○4	○5	○6	○7	○8	○9	○10	○11	○12

(注1)自治体が行う有償のサービスはその他に記入してください

(注2)「コントラクターの利用」は飼料生産における作業の委託を指します。なお 共同利用組合等による農業機械の共同利用は対象となりません

問3 農業支援サービスを利用している方にお聞きします。以下の機械等のうち、有償の農業支援サービスで利用されている機械等をすべて選んでください。
(○はいくつでも)

- 1 ドローン
- 2 無人ヘリコプター
- 3 自動走行又は直線アシスト機能付きトラクター
- 4 トラクター（3以外のもの）
- 5 自動走行又は直線アシスト機能付き田植機
- 6 可変施肥田植機
- 7 田植機（5、6以外のもの）
- 8 全自動移植機又は直進アシスト機能付き移植機
- 9 移植機（8以外のもの）
- 10 自動走行又は直進アシスト機能付き収穫機
- 11 食味計付き収穫機
- 12 収穫機（10、11以外のもの）
- 13 可変機能付施肥機
- 14 施肥機（自走式など13以外のもの）
- 15 自律走行型農薬散布機
- 16 農薬散布機（自走式など15以外のもの）
- 17 リモコン又は自動草刈機
- 18 草刈機（17以外のもの）
- 19 人工衛星等を活用した画像解析
- 20 機械等を使用していない、使用している機械がわからない
- 21 その他（具体的に記入）

[]

問4 農業支援サービスを利用している方にお聞きします。利用されている農業支援サービスの総額について、売りに占める割合はどれぐらいですか。
(○は1つ)

- 1 10%以下
- 2 10~20%
- 3 20~30%
- 4 30%以上

問5 農業支援サービスを利用している方にお聞きします。あなたが利用している有償の農業支援サービスをどのように知りましたか。
(○はいくつでも)

- 1 新聞・雑誌
- 2 ホームページ・ネット検索
- 3 SNS (Facebook、X (旧:Twitter)、Instagram 等) (具体的に記入)
〔 〕
- 4 研修会・勉強会 (具体的に記入)
〔 〕
- 5 シンポジウムやフォーラムなどのイベント (具体的に記入)
〔 〕
- 6 都道府県、市町村の職員から
- 7 JAの職員から
- 8 農業支援サービス事業者からの売り込み
- 9 知り合いの農家からの口コミ
- 10 普段利用している資材店やメーカーがサービスを行っていた
- 11 その他 (具体的に記入)
〔 〕

問6 農業支援サービスの今後の利用意向についてお聞きします。あなたは、今後有償の農業支援サービスを利用する意向はありますか。
(○は1つ)

【農業支援サービスを利用している方は1・2よりお選びください】

- 1 希望する全ての農業支援サービスを利用できている (→これで回答は終了です。)
- 2 利用中の農業支援サービス以外で、利用を希望する農業支援サービスがある
(→問7、問8及び問9へ)

【農業支援サービスを利用していない方は3・4よりお選びください】

- 3 今後利用する意向がある (→問7、問8及び問9へ)
- 4 今後も利用する意向がない (→問10へ)

問7 問6で「2」または「3」と回答した方にお聞きします。
「2」と回答した方で、利用中の有償の農業支援サービス以外で今後利用する意向がある理由は何ですか。
「3」と回答した方で、今後利用する意向がある理由は何ですか。
(○はいくつでも)

- 1 規模拡大に伴う労働力確保のため
- 2 有償サービスを活用することにより、生産コストを抑えることができるため
- 3 自身では取得困難なデータの取得・分析ができるため
- 4 自身で購入せずに最新機械を活用することができるため
- 5 営農継続のため
- 6 その他 (具体的に記入)

[]

- 問8 問6で「2」または「3」と回答した方にお聞きします。
今後利用する意向がある有償の農業支援サービスを現在利用していない主な理由は何ですか。
(○はいくつでも)

- 1 利用料が高いから
- 2 希望する作業の農業支援サービスが見つからないから
- 3 希望の日時に予約が取れないから
- 4 手続きに手間がかかりそうだから
- 5 そもそも農業支援サービスについて具体的に調べていない
- 6 今までは農業支援サービスを利用する必要性を感じなかったから
- 7 その他（具体的に記入）

[]

問9 問6で「2」または「3」と回答した方にお聞きします。

現在利用していない有償の農業支援サービスの中で、具体的にどのような農業支援サービスの利用を希望していますか。今後1・2年以内に利用希望するサービスと、2年後以降将来的に利用希望するサービスについて、それぞれ、問1で回答した販売金額第1位の部門の立場からご回答をお願いいたします。

(1) 販売金額第1位の部門が「耕種農業」の方(問1で1~6)と回答した方

(各サービスの具体例は、別紙1をご参照ください) (○はいくつでも)

販売金額第1位の部門 が耕種農業の方	農業支援サービスの内容										
	専門作業受注型						データ分析型		人材供給型		機械設備提供型
	耕うん、代かき	定植(播種、田植え、定植)	ドローンによる農薬散布・施肥(注)	ドローン以外の農薬散布・施肥(注)	収穫	その他(育苗、草刈、剪定など)	生育の分析・コンサルティング	経営の分析・コンサルティング	年間を通しての人材派遣	臨時的な人材派遣	農業機械のレンタル・サブスク・シェアリング
今後1,2年以内に 利用を希望する 農業支援サービス	○1	○2	○3	○4	○5	○6	○7	○8	○9	○10	○11
2年後以降将来的に 利用を希望する 農業支援サービス	○1	○2	○3	○4	○5	○6	○7	○8	○9	○10	○11

(注)「ドローン」には、マルチコプターのみを含み、「ドローン以外」には、無人ヘリ等のマルチコプター以外の無人航空機や動力散布機を含みます

(2) 販売金額第1位の部門が「畜産農業」の方(問1で7~9)と回答した方

(各サービスの具体例は、別紙1をご参照ください) (〇はいくつでも)

販売金額第1位の部門が畜産農業の方	農業支援サービスの内容											
	専門作業受注型					データ分析型		人材供給型				機械設備提供型
	家畜の預託	獣医師や家畜人工授精師による人工授精等	削蹄師による削蹄	TMRセンターの利用	コントラクターの利用(注)	生育の分析・コンサルティング	経営の分析・コンサルティング	年間を通しての人材派遣	臨時的な人材派遣	酪農ヘルパー	肉用牛ヘルパー	農業機械のレンタル・サブスク・シェアリング
今後1,2年以内に利用を希望する農業支援サービス	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
2年後以降将来的に利用を希望する農業支援サービス	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫

(注)「コントラクターの利用」は飼料生産における作業の委託を指します。なお 共同利用組合等による農業機械の共同利用は対象となりません

問 10 問6で「4」と回答した方にお聞きします。
有償の農業支援サービスを利用する意向がない主な理由は何ですか。
(〇はいくつでも)

- 1 利用料が高いから
- 2 希望する作業の農業支援サービスが見つからないから
- 3 希望の日時に予約が取れないから
- 4 手続きに手間がかかりそうだから
- 5 そもそも農業支援サービスについて具体的に調べていない
- 6 農業支援サービスを利用する必要性を感じないから
- 7 農業支援サービス利用者に該当しないから (農業支援サービス提供者であるなど)
- 8 その他 (具体的に記入)

[]

問 11 問 10 で「7」と回答した方にお聞きします。

農業支援サービスの提供者である場合、どのような農業支援サービスを提供していますか。サービス内容、規模（対象としている地域、サービスに係る面積、経営体数）等を自由記述で回答してください。（可能な範囲で記載ください。）

○サービス内容

[]

○対象としている地域

[]

○サービスに係る面積

[]

○経営体数

[]

○その他

[]

調査は以上となります。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）にて

11月21日（金）までにご投函くださいますようお願い致します。

※すでにパソコン・スマートフォン・タブレット等を利用し、インターネット回答をされている方は、この調査票へのご記入や投函は不要です。

整理番号：

農業支援サービス等に関する意識・意向調査

(農業支援サービスの定義)

不特定の農業者等に対して対価を得てサービスを提供することをいい、ドローン散布等の作業受託やデータ分析、農業機械のシェアリング、農業現場への人材供給等があります。

本調査は、サービスを①専門作業受注型、②データ分析型、③人材供給型、④機械設備供給型の4類型に分類し、その中の主要な農業支援サービスを対象として意識・意向を調査するものです。また、農場での営農行為に関わる「有償」のサービスを対象とし、農産物の流通・販売に係るサービス(選果、貯蔵、調整、選別、共同出荷など)や、税理士による青色申告等の会計業務、獣医師による医療行為は対象外とします。

本調査の対象となる具体的な農業支援サービスについては、以下「本調査の対象となる農業支援サービスの4類型と具体例」を参照ください。

(本調査の対象となる農業支援サービスの4類型と具体例)

① 専門作業受注型

- ・ 耕うん、育苗、定植、草刈、農薬・肥料の散布、剪定、収穫などの農作業の作業の企業やJAへの委託
- ・ 不特定者に対するサービスとして作業受託をしている地域の担い手への農作業の委託(特定の知り合いだけからしか受託していない担い手への委託は除く)
- ・ 獣医師や人工授精師等による人工授精、削蹄師による削蹄、預託サービス等の活用
- ・ 企業やJAが運営するTMRセンターや地域の農業者が寄合い形成するTMRセンターの利用

② データ分析型

- ・ 家畜の生体情報の分析を行うサービスの利用
- ・ 土壌診断やドローン画像の撮影による生育診断を提供するサービスの利用
- ・ 生育や市況などのデータに基づいて作付・栽培計画、飼養計画や出荷時期を提案するサービス(アプリ・ソフトウェアを含む)の利用
- ・ 農機の購入など経営面に関する提案を行うサービス

③ 人材供給型

- ・ JAや人材派遣会社を介して農作業を行う人材派遣サービスの利用
- ・ 酪農ヘルパーや肉用牛ヘルパーの活用

④ 機械設備供給型

- ・ 農業支援サービス提供事業者からレンタルやシェアリングされたトラクター等の農業機械の利用

(参考：対象とならない取組例)

- ・ 普及指導員やJAの営農指導員による従来からの経験に基づく無償の営農指導
- ・ 農産物の流通・販売に係るサービス(選果、貯蔵、調整、加工、共同出荷など)
- ・ 税理士による青色申告等の会計業務
- ・ 仲介事業者のサービスを介さない直接のアルバイト募集・契約
- ・ 共同利用組合等による農業機械の共同利用
- ・ 獣医師による医療行為